

平成21年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[民事訴訟法]

次の各行為をすることの可否ないしそれに関する制限について説明せよ。

- (1) 原告が、ある主要事実を主張したのち、それを撤回する行為
- (2) 原告が、ある主要事実の立証のためにある書証を提出した場合において、その書証の提出を撤回する行為
- (3) 原告が、1つの訴えで、売買契約に基づく目的物引渡請求と売買契約が無効であったことを理由とする代金の返還請求をしつつ、前者の請求が認容されることを条件として、後者の請求を撤回する行為
- (4) 原告側が複数の必要的共同訴訟において、原告の1人が訴えを撤回する行為

【100点】